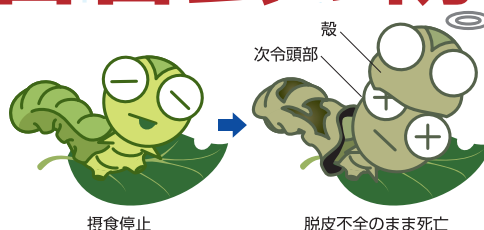


IGR 殺虫剤

ロムダン®フロアブル

チョウ目害虫の防除に!!

ユニークな
脱皮促進作用



ロムダンは昆虫の脱皮ホルモン様の作用を有し、新しい表皮の形成を異常に誘導します。そのため幼虫は速やかに摂食を停止し、脱皮不能または不完全な脱皮状態となり発育できず死に至ります。



特長

1 ユニークな脱皮促進作用

- 従来のキチン合成阻害剤や幼若ホルモンとは異なる昆虫成長制御剤(IGR)です。
- チョウ目幼虫に対して異常脱皮を誘発し、発育や摂食行動を抑制し、死に至させます。

2 安定した効果

- 残効性・耐雨性に優れ、幼虫の発育ステージにかかわらず高い効果を示します。
- 既存剤に感受性が低下した害虫にも有効です。

3 環境に対する影響の少ない薬剤

- 有用昆虫、天敵、鳥類に影響が少ない薬剤です。●登録作物への薬害は認められていません。

上手な使い方

本剤は移行性がありません。対象害虫に対してはラベルに従い所定濃度に希釈液を調製し、害虫発生初期に散布むらのないように十分量を散布してください。



ロムダン®フロアブル

IGR 殺虫剤

●有効成分：テブフェノジド…20.0%

殺虫剤分類 18

●人畜毒性…普通物
(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	テブフェノジドを含む 農薬の総使用回数	使用方法				
りんご	ヨトウムシ	2,000	200～700	収穫前日まで	2回以内	2回以内	散 布				
	ハマキムシ類、キリガ類	1,500～3,000									
	ケムシ類、シャクトリムシ類	3,000									
ぶどう 小粒核果類	ケムシ類										
おうとう	ハマキムシ類										
もも ネクタリン	ハマキムシ類 ケムシ類			3回以内	3回以内						
なし			収穫21日前まで								
マンゴー	ドクガ類、ハマキムシ類	2,000									
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ	1,000	200～400	摘採14日前まで	2回以内	2回以内					
	ヨモギエダシャク チャノホソガ	1,000～2,000									
てんさい	ヨトウムシ	2,000	100～300	収穫14日前まで							
かんしょ	ナカジロシタバ ハスモンヨトウ	2,000～3,000		0.8	収穫7日前まで			無人航空機 による散布			
		8									
さといも さといも(葉柄) しょうが	ハスモンヨトウ	2,000	100～300	収穫前日まで	3回以内	3回以内	散 布				
れんこん				収穫3日前まで							
だいず				収穫14日前まで							
ねぎ	シロイチモジヨトウ			収穫7日前まで	2回以内	2回以内					
にんじん	ヨトウムシ	2,000～4,000		収穫前日まで							
	キアゲハ	2,000～3,000									
はくさい キャベツ	ハスモンヨトウ アオムシ	2,000～4,000									
	シロイチモジヨトウ	2,000									
レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ	2,000～4,000									
いちご	ハスモンヨトウ	2,000	25～180	収穫21日前まで			茎葉散布				
そば ほうれんそう											
たばこ	ヨトウムシ			収穫7日前まで							
とうき	キアゲハ	3,000									
花き類・観葉植物 (きくを除く)	ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ	1,000	100～300	発生初期	5回以内	5回以内	散 布				
	オオタバコガ ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ										
きく											
樹木類	ケムシ類	2,000～3,000	200～700								

⚠ 効果・薬害等の注意 ⚠

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- カラー及び花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しないでください。また、使用後14日間は入水しないでください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、養蚕地帯等では使用しないでください。また、これら以外の場所でも付近に桑園がある場合は飛散してかからないように十分注意して散布してください。
- 無人航空機による散布を行う場合には、次の注意事項を遵守してください。
 - (1) 散布機種種の散布基準に従って行ってください。
 - (2) 散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
 - (3) 散布中に薬液の漏れがないように、事前に機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - (4) 散布液の飛散によって自動車の塗装やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。

(5) 散布終了後、機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。また使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。

- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
 - 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 保 管：密栓し、直射日光をさけ、なるべく冷涼な所に保管してください。

●使用前は、ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2026年1月現在の登録内容に基づいています。



日本曹達株式会社

〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

お問合せ (03)4212-9655

(平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)



最新の登録内容、
SDSはこちら



LINE
公式アカウント